

健康保険被扶養者(異動)届

令和 年 月 日 提出

受付年月日

事業主記入欄	事業所所在地 事業所名称 事業主氏名 電 話	
	<input type="checkbox"/> この届出については、①又は②の要件を満たしたものである。 ①申請者本人(被保険者)が作成したものである。 ②記載内容については誤りがないか申請者本人が確認している。	
	事業主が確認した場合にのみ記入してください。	確認 収入に関する証明の添付が省略されている者は、所得税法上の控除対象配偶者・扶養親族であることを確認しました。 確認 被保険者との続柄に関する証明書類が省略されている者については、続柄を確認しています。

社会保険労務士記入欄

被保険者	被保険者記号・番号	生年月日	昭・平・令	年	月	日	性別	男・女	標準報酬月額	千円
被保険者	氏名 (フリガナ) (氏) (名)	取得年月日	昭・平・令	年	月	日	性別	男・女	住民票住所	〒 -

被扶養者欄 1	氏名 (フリガナ) (氏) (名)	個人番号	生年月日	昭・平・令	年	月	日	性別	男・女	続柄
	住民票住所	1.同居 2.別居	海外居住者又は海外から国内に転入した場合は右欄を記入してください。	海外特例要件	理由	1.留学 2.同行家族 3.特定活動 4.海外婚姻等 5.その他()				
	1.増 2.減	令和	年	月	日	職業	1.無職 2.パート 3.年金受給者 4.小・中学生以下 5.高・大学生(年生) 6.その他()	理由	増事由 1.出生 2.離職 3.収入減 4.その他()	減事由 1.死亡 2.就職 3.収入増加 4.後期高齢者 5.その他()
	居所住所 (対象者の住民票住所と違う場合記入必須)	〒	備考							

被扶養者欄 1	氏名 (フリガナ) (氏) (名)	個人番号	生年月日	昭・平・令	年	月	日	性別	男・女	続柄
	住民票住所	1.同居 2.別居	海外居住者又は海外から国内に転入した場合は右欄を記入してください。	海外特例要件	理由	1.留学 2.同行家族 3.特定活動 4.海外婚姻等 5.その他()				
	1.増 2.減	令和	年	月	日	職業	1.無職 2.パート 3.年金受給者 4.小・中学生以下 5.高・大学生(年生) 6.その他()	理由	増事由 1.出生 2.離職 3.収入減 4.その他()	減事由 1.死亡 2.就職 3.収入増加 4.後期高齢者 5.その他()
	居所住所 (対象者の住民票住所と違う場合記入必須)	〒	備考							

被扶養者欄 1	氏名 (フリガナ) (氏) (名)	個人番号	生年月日	昭・平・令	年	月	日	性別	男・女	続柄
	住民票住所	1.同居 2.別居	海外居住者又は海外から国内に転入した場合は右欄を記入してください。	海外特例要件	理由	1.留学 2.同行家族 3.特定活動 4.海外婚姻等 5.その他()				
	1.増 2.減	令和	年	月	日	職業	1.無職 2.パート 3.年金受給者 4.小・中学生以下 5.高・大学生(年生) 6.その他()	理由	増事由 1.出生 2.離職 3.収入減 4.その他()	減事由 1.死亡 2.就職 3.収入増加 4.後期高齢者 5.その他()
	居所住所 (対象者の住民票住所と違う場合記入必須)	〒	備考							

被保険者の配偶者が被扶養者ではないとき(例:夫婦共働きの場合)は記入してください。	配偶者の年収見込額	円
---	-----------	---

扶養に関する申立書(添付書類の内容について補足する事項がある場合に記入してください)
--

記入方法

○被保険者欄

- 被保険者記号・番号 : 資格取得時に払い出された被保険者記号・番号をご記入ください。
- 氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
- 生年月日 : 年号は該当するものを○で囲んでください。
- 性別 : 該当するものを○で囲んでください。
- 標準報酬月額 : 被保険者の申請時の標準報酬月額をご記入ください。
- 住所 : 住民票の住所をご記入ください。

○被扶養者欄

- 氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
- 続柄 : 被保険者との続柄を「夫」、「妻」、「長男」、「長女」、「父」、「母」等と記入してください。
- 個人番号 : 本人確認を行ったうえで、個人番号をご記入ください。
- 住所 : **被保険者と同居または別居のいずれかを○で囲み、同居の場合は住所記入は不要です。別居の場合は、住所欄に住民票の住所を記載下さい。**
- 増、減(被扶養者) : 被保険者の健康保険加入と同時に提出する場合は「取得年月日」と同日、それ以外の場合は出生年月日等の実際に被扶養者になった日を、死亡による場合は死亡日の翌日を、それ以外の場合は非該当になった当日の日付をご記入ください。
- 理由 : 被扶養者となった理由を○で囲んでください。ただし、『被保険者資格取得届』と同時に提出する場合は記入不要です。
- 海外特例要件 : 海外特例要件該当・非該当のいずれかを○で囲み、理由をご記入ください。海外特例要件非該当で国内転入の場合は転入した日をご記入ください。
- 居所住所 : **対象の被扶養者の現住所が住民票と違う場合は記載下さい。**
- 備考 : 被扶養者情報に変更がある場合は、変更の内容とその理由をご記入ください。
- 配偶者の年収見込額 : 配偶者以外を被扶養者とする場合で、被保険者の配偶者が被扶養者でないときは配偶者の年間収入見込額をご記入ください。これは、配偶者以外の方について、被保険者と配偶者のどちらの被扶養者に認定するのが適正なのかを確認するためです。

添付書類

●扶養に入れる場合の添付書類(一覧)			所得証明書の写し	非課税証明書の写し (前年から無収入の方)	続柄入世帯全員の住民票※マイナンバー記載あり(発行日から6ヶ月以内)の写し	婚姻日がわかるもの (婚姻受理証等)の写し	母子手帳の写し	配偶者の収入がわかるもの (源泉徴収票等)の写し	雇用保険受給資格者の写し *1 または 離職票1と離職票2の写し	退職日が記載された源泉徴収票の写し (雇用保険未加入者)	退職手当金の源泉徴収票の写し (雇用保険未加入の公務員)	退職金の源泉徴収票の写し	年金証書・改定通知書・支払通知書等の写し (年金受給者)*2	確定申告書の写し(自営業者)*3	在学証明書(発行日から3ヶ月以内)または学生証の写し	口述書	直近3ヶ月の送金確認書類 (別居・世帯分離されている方)	在留カードの写し(外国籍の方)*4	
配偶者	婚姻	無職	◎	○	○	○							○					○	
		退職			○	○				○	○	○		○					○
	就労(収入限度額内)				○	○								○	○				○
	退職				◎					○	○	○		○					○
	雇用保険受給終了後				◎					◎				○					○
子	出生				◎		◎	□										○	
	中学生以下				◎		□											○	
	高校生				◎		□											○	
	高校卒業後の学生	働いたことのない方	○		◎		□	○	○	○	○	○		○			◎	○	○
		働いたことのある方	○		◎		□	○	○	○	○	○		○			◎	○	○
学生以外		○		◎		□	○	○	○	○	○		○	○		◎	○	○	
孫*5	兄弟姉妹				◎													○	
	無職		○		◎									○				○	
	退職		◎		◎					○	○	○	○	○				○	
就労(収入限度額内)		◎		◎									○	○				○	
その他の	無職		○		◎		□						○					◎	
	退職		◎		◎		□	○	○	○	○	○	○	○				◎	
	就労(収入限度額内)		◎		◎		□							○	○			◎	

- ◎…必ず添付
- …該当する場合は必ず添付
- …配偶者が扶養に入っていない場合、配偶者の収入がわかるものを必ず添付

※ご注意ください!
住民票等の取得の際には、**マイナンバー記載ありのもの**をお願い致します。

- *1 雇用保険に加入されていた方は、失業給付受給の有無を確認します。
- *2 年金収入は、障害者年金・遺族年金・企業年金・恩給も含まれます。
- *3 収入額が、年間収入 130万円未満:月額108,334円未満 であることがわかるものを準備ください。
180万円未満:月額150,000円未満
- *4 自営業収入は、経費等控除前の「収入金額」で確認しており、経費等は認めておりません。
- *5 在留許可が1年以上の場合に限ります。
- *6 孫の両親の収入がわかるものを必ず添付してください。

●扶養から外す場合の添付書類(一覧)	就職先の健康保険証の写し	雇用保険受給資格者証の写し (受給開始日が記載されたもの)*1	*2 離婚受理書又は戸籍の全部事項証明書	(死亡日のわかるもの) *3
就職	◎			
雇用保険受給開始		◎		
離婚			◎	
死亡				◎

- ◎…必ず添付
- *1 離婚日が資格喪失日となります。
- *2 死亡日の翌日が資格喪失日となります。
- *3 死亡日の翌日が資格喪失日となります。

任意継続加入の方へ

任意継続加入後も、被扶養者の加入(継続)を希望する方は、この用紙を「任意継続被保険者資格取得申請書」と一緒に提出願います。